

スマート農業・畜産業技術体験フェア

福島イノベーション・コースト構想による農業・畜産業の成長産業化推進

開催日時

2019 **11/29** 金 11:00~16:00

会場

飯舘村交流センター「ふれ愛館」(福島県飯舘村)

参加
無料

先進的な農業・畜産業を全国に先駆けて実践していくため、県内外の取組事例に関するセミナーや最先端の農業・畜産業技術を実際に見て触れて体験できるフェアを開催します。

先端技術展示

その他の出展は裏面をご覧ください



ROBOT TRACTOR



乗らずに操作できる、ロボットトラクター。

ヤンマーアグリジャパン株式会社

ロボットトラクタのデモンストレーション及びほ場状態を見える化するリモートセンシング(ドローンによる水稲生育診断)の展示。



株式会社ササキコーポレーション

人が作業しにくい場所・機械が入る事の出来ない場所での草刈り作業を目的とした電動リモコン作業機「スマモ」を展示。



ファームノートカラー



スマホに
発情通知



モバイル牛温恵



24時間前
分娩兆候通知



株式会社 NTT ドコモ

母牛分娩の監視システム「モバイル牛温恵」、母牛の発情、疾病検知システム「ファームノートカラー」、わな動作の遠隔監視「みまわローラ」の展示。

セミナー

スマート農業に関する技術や 福島県内での取組について

11:45~12:30

福島大学 農学群食農学類 准教授 窪田陽介氏

近年、農業従事者の高齢化、離農、担い手不足など日本農業は深刻な問題を抱えています。これらの問題への対抗策としてICTやIoTなど先端技術を用いたスマート農業が注目を集めています。

福島県においても同様の課題がある南相馬市小高区において、スマート農業活用による高品質の農産物を効率的に生産する技術体系の確立を目指し、営農支援システムを軸としたロボットトラクタやドローン、リモート水管理システムなどを使用したの実証事業が行われています。その中でスマート機器を用いた際の作業効率などを測定、スマート農業の普及に資するデータ収集を行っています。本講演においては、上記の実証事業の概要に加え、畜産のスマート技術に関する基礎的な研究について紹介します。



事例発表

牛の個体一元管理システムの開発と実証について

(株)富士通エフサス ビジネス企画推進本部
サービスイノベーション推進部

川原新一氏

14:00~14:30

飯舘村農家 佐藤一郎氏

県内有数の畜産地帯である阿武隈地域において、原発事故に伴う避難等により飼養頭数が大幅に減少している畜産業の復興と営農再開を図るため、ICT機器の連携による大規模繁殖農場経営モデルの構築について紹介します。

復興牧場「フェリスラテ」の取組について

14:30~14:50

株式会社フェリスラテ 代表取締役社長 田中一正氏

震災と原発事故の影響で福島県の多くの酪農家が避難休業を強いられました。そのような中、福島県の酪農復興のシンボルとして設立され、避難休業酪農家5名が共同経営している復興牧場「フェリスラテ」の取組を紹介します。

クボタアグリサービス株式会社 仙台事業所	屋外:アグリロボトラクタ、散布用ドローンの展示・実演、屋内:営農支援システムKSAS、ほ場水管理システム「ワタラス」の御紹介。
井関農機株式会社	ロボットトラクタの展示・実演、およびブースにてISEKI ICTソリューションの紹介展示。
イームズロボティクス株式会社	自動飛行機能搭載の農業散布用ドローン(液剤・粒剤対応・PCシミュレーター体験あり)の他、水田防除用農業散布用ボートを展示。
協和テクノ株式会社	現地に行かなくても電気柵の電圧を遠隔で監視することができる電気柵監視システム「エフモスジュニア」の御紹介。
サージミヤワキ株式会社	電気柵の状態が見え、電圧をキープする、次世代型パワーユニット「M2800i」の紹介展示。
農研機構 農業技術革新工学研究センター	着果モニタリングロボットの実機実演など、AIによるトマト生産効率化の御紹介。
株式会社ぶらんこ	太陽光発電・長距離無線(LPWA)・クラウド管理を活用した水田水管理システムの御案内。
株式会社SenSprout	遠隔で圃場の状態を確認し、灌水の予約・実施が可能となるセンサシステム、灌水制御システムを展示紹介。
株式会社セラク	全国1,800台の導入実績がある圃場モニタリング・環境制御ツール「みどりクラウド」を活用した圃場データ分析による高収量化・省力化についての展示。
国際航業株式会社	衛星画像やドローンで撮影した画像を解析し、小麦・大豆・牧草・水稻の生育状況を診断する営農支援サービス「天晴れ(あつぱれ)」の展示。
住友商事東北株式会社	自律飛行、生育診断をするナイルワークス 農業用ドローン及びインターネットイニシアティブ 水位センサーの展示。
株式会社富士通エフサス	牛の飼養管理(予実、病歴など)、発情・分娩監視センサーと連携した個体一元管理システムの展示。
株式会社イノビット・株式会社マイメディア	様々な飼育形態で、首に取付ける行動量センサーを利用した牛の発情発見システムの展示。
株式会社イノフィス	腰補助用マッスルスーツの新モデル『マッスルスーツEvery』(11月発売開始)を展示(体験あり)。
福島大学 農学群食農学類	2019年4月に福島大学に新設された食農学類の4コースの研究特色や農学実践型教育についての展示紹介。
株式会社AI無人化鶏舎研究所(イノベ企業協議会)	川内村で計画中の「AI防疫システム無人化鶏舎の研究開発」と、この技術による阿武隈高原養鶏業の復興再生についての御紹介。
スマート農業加速化実証プロジェクト	福島県内のスマート農業加速化実証プロジェクト2事例についての御紹介。
福島県/福島相双復興推進機構/日本政策金融公庫	営農再開のための相談コーナー/農業者のみなさまへの公庫資金の御案内。

タイムテーブル

時間	屋内1Fホール	屋内・外展示	屋外実演
11:00	開場	開場	
11:30	主催挨拶	↓ 各社デモンストレーション	↓
11:45	セミナー スマート農業に関する技術や福島県内での取組について		
12:35	各社プレゼンテーション		
14:00	事例発表① 牛の個体一元管理システムの開発と実証について		
14:30	事例発表② 復興牧場「フェリスラテ」の取組について		
14:50	各社プレゼンテーション		
16:00	閉場		

アクセス

飯舘村交流センター ふれ愛館

福島県相馬郡飯舘村草野字大師堂17



福島駅東口	車で50分	ふれ愛館
	国道114号線経由	
原ノ町駅	車で31分	ふれ愛館
	県道12号線経由	
南相馬IC	車で22分	ふれ愛館
	県道12号線経由	
相馬玉野IC	車で25分	ふれ愛館
	県道31号線経由	

会場・福島駅直通バス 行き: JR福島駅西口発 10:00 帰り: 会場発 16:00

参加の方は以下の内容を記入の上、メール・FAXまたは申込みフォームでお申込みください。

スマート農業・畜産業技術体験フェア 申込書

代表者お名前	(全 名 / セミナー聴講希望 名)
会社・団体名/部署	業種
TEL	FAX
E-mail	
お車の利用	有り <input type="checkbox"/> (台数 台)

お申込み締切日

11月25日(月)

参加無料

お申込み先

スマート農業・畜産業技術体験フェア事務局

●FAXでのお申込み

024-991-4741

●E-mailでのお申込み

nourin-event@exd-connect.jp

※当日参加は可能ですが、参加人数把握のため、できる限り締切日までにお申し込みください。

※申込みいただいた個人情報の取り扱いについて お申込みご記入をもって、以下の①～④に同意頂いたものとさせていただきます。

①ご記入いただきましたご連絡先へ、ご連絡を差し上げる場合がございます。②本イベントの主催以外の第三者への提供はいたしません。

③ご本人の承諾や法令により認められる場合を除き、個人情報を他へ提供することはありません。④当日撮影した写真等を主催者がホームページ等で掲載する可能性があります。

●申込みフォームでの申込み



お問い合わせ先/スマート農業・畜産業技術体験フェア事務局 TEL 024(983)3498 (事務局開設時間 平日/9:00~17:00)

※本チラシ記載の出展企業及びタイムテーブル等は当日変更になる場合もございます。予めご承知おください。